

## ◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が1例(70歳代男性)(第3週追加報告分)ありました。本年の累積報告数は2例となりました。
- ・ **侵襲性インフルエンザ菌感染症**の報告が1例(80歳代男性)あり、症状は肺炎、菌血症です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年初めての報告です。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例(70歳代男性)あり、症状は発熱、肺炎、菌血症です。感染地域は国内で、感染経路は接触感染です。本年の累積報告数は7例となりました。  
京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。  
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(健康安全課ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- ・ **梅毒**の報告が1例(30歳代女性)(第3週追加報告分)ありました。症状はありません。感染地域は国内で、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は4例となりました。
- ・ **百日咳**の報告が1例(40歳代女性)ありました。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は6例となりました。
- ・ **インフルエンザ**の定点当たり報告数は京都市では15.25(1,052例)となり、前週の13.77(950例)から増加しました。依然として注意レベルで推移しています。体調管理に注意し、手洗いやうがいの励行、咳エチケットなど予防を徹底して下さい。インフルエンザの発生状況や予防対策については、下記URLを御参照ください。  
○インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>  
○京都市こどもの感染症(令和2年2月号)「てあらいでインフルエンザを予防」(衛生環境研究所ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>  
○インフルエンザの発生状況について(健康安全課ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000051303.html>

## ◆ 今週のトピックス: <風しん>

昨年の風しんの累積報告数は、京都市で11例、全国で2,306例と、2012年、2013年以来の大流行となった一昨年に続き、報告数の多い状況となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 5例(肺結核 2例, その他結核なし, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 なし  
【1月以降の累積報告数 18例(肺結核 8例, その他結核なし, 潜在性結核感染者 10例)うち喀痰塗抹陽性 2例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- ・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- ・ 五類:百日咳 1例【1月以降の累積報告数 6例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

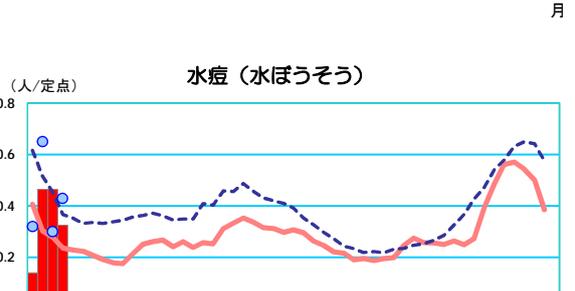
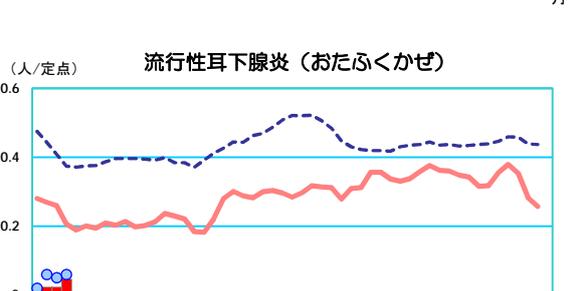
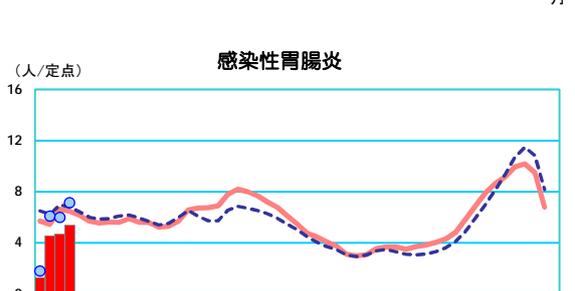
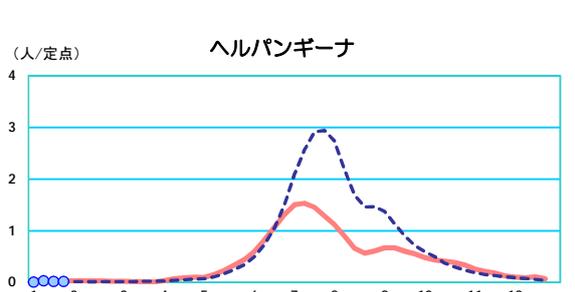
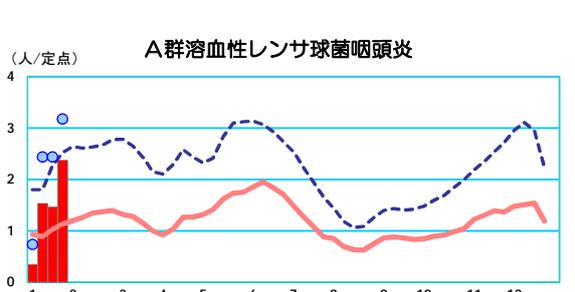
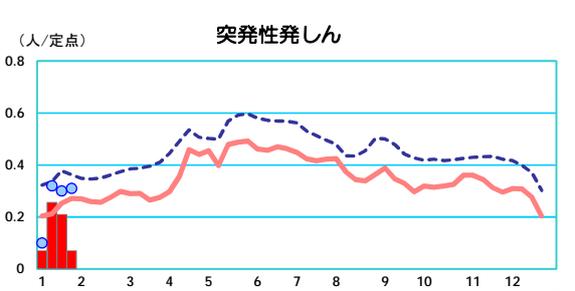
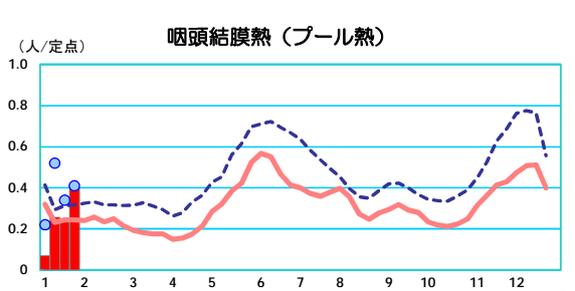
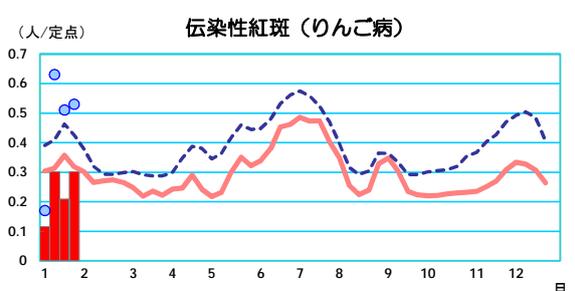
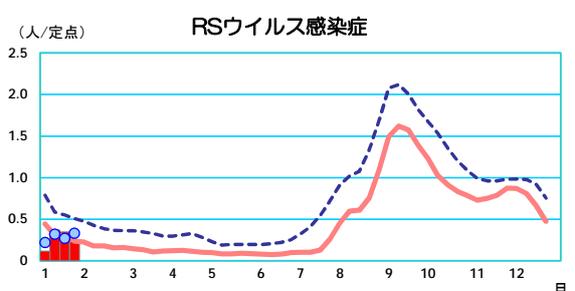
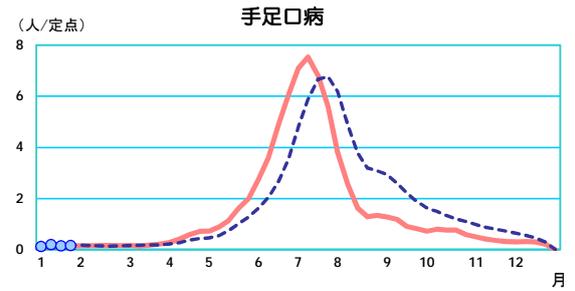
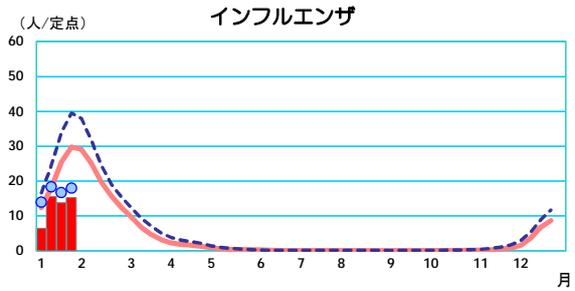
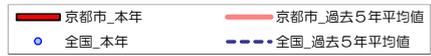
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	15.25	1,052
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.37	231
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.37	102
	③ 咽頭結膜熱	0.40	17
	④ 水痘	0.33	14
	⑤ 伝染性紅斑	0.30	13
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

### 【次ページ以降の主な内容】

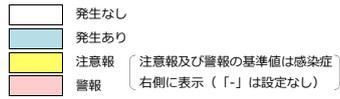
インフルエンザ\*及び小児感染症の疾病別推移グラフ / インフルエンザ\*及び小児感染症の発生状況地図 / 今週のトピックス:<風しん>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2020年1月29日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

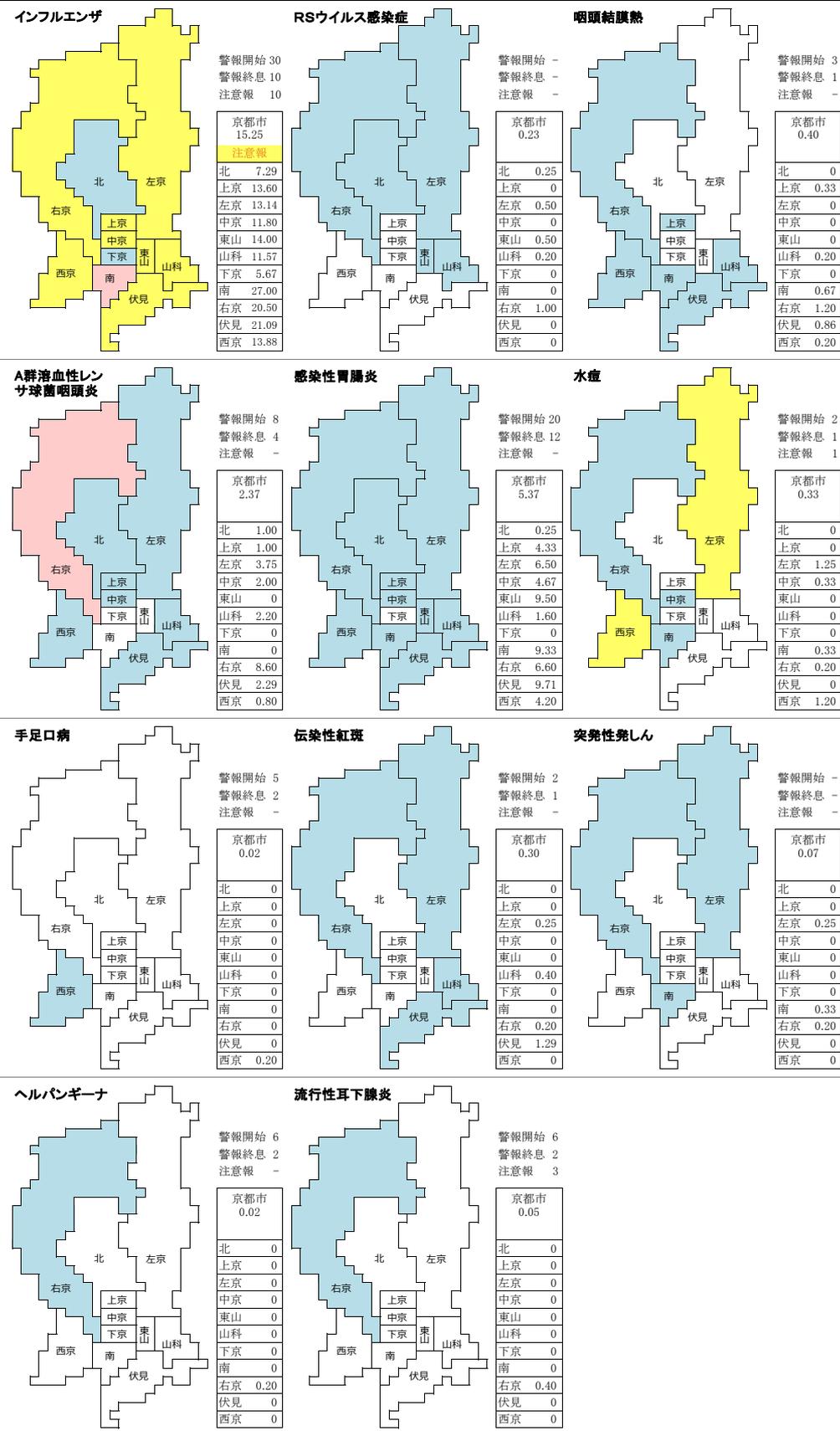
# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第4週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。  
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。」



## 第4週(1月20日～1月26日)トピックス: <風しん>

昨年の風しんの累積報告数は、京都市で11例、全国で2,306例と、2012年、2013年以来の大流行となった一昨年に続き、報告数の多い状況となりました(表1)。昨年の全国の報告例を性別及び年齢階級別に分類すると、40歳代男性が617例と最も多く、次いで30歳代男性が456例と(図1)、30～40歳代男性が全体の半数近くを占めています。この世代の男性は予防接種の制度上、定期接種の機会がなかったため、抗体を持っている人が他の世代より低くなっていることによります。

本疾患は風しんウイルスを原因とし、主症状は発熱、発疹、リンパ節腫脹で、一般的には軽症で予後良好です。しかし、妊婦が風しんウイルスに感染すると、胎内感染により胎児にも感染し、心疾患、難聴、白内障等の様々な症状を示す先天性風疹症候群(CRS)児を出生する可能性があり、重度の心疾患を伴った場合、死に至ることもあります。2012年以降、風しんの報告数が最も多かった2013年には32例、2012年と昨年はそれぞれ4例、本年も既に1例のCRS児が報告されています(表1)。

風しんウイルスは感染力が強く、予防にはワクチン接種しかありませんが、妊婦がワクチンを接種することはできません。このため、周囲がワクチン接種し抗体を獲得することが、CRS児の増加を防ぐこととなります。この対策として厚生労働省は昨年2月に、定期接種を受ける機会がなかった1962年(昭和37年)4月2日から1979年(昭和54年)4月1日までの間に生まれた男性に対して、抗体検査をした上で、予防接種法に基づいた風しんの第5期の定期接種を行うことを決定しました。

そして、京都市ではこの国の決定に従い、対象となる方のうち1972年(昭和47年)4月2日から1979年(昭和54年)4月1日生まれの方(約71,000人)に、抗体検査と、第5期定期予防接種が原則無料で受けられるクーポン券を昨年8月に送付しました。また、今回クーポン券をお送りしていない1962年(昭和37年)4月2日～1972年(昭和47年)4月1日生まれの方やクーポン券を紛失された方で再発行を希望される場合も、申請していただければクーポン券を発行することとしています。

ただし、今年度送付したクーポン券の**有効期限は今年3月31日までです**。クーポン券をまだ利用していない方は、有効期限内に抗体検査を受け、風しん抗体価が低い場合はワクチン接種をしましょう。詳細については、下記の専用お問い合わせ電話窓口にお問い合わせいただくか、ホームページを御覧ください。

◆風しん第5期定期予防接種専用お問合せ電話窓口  
電話番号 0120-074-888 (今年3月31日まで)

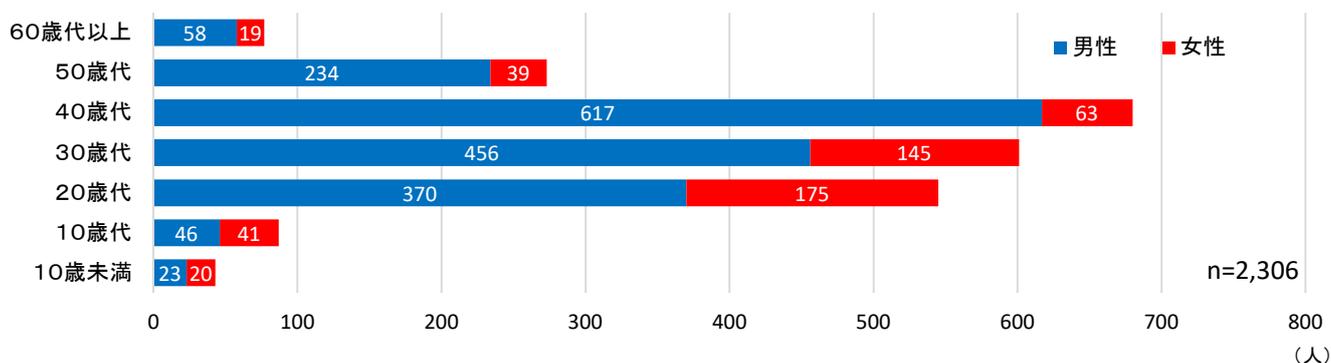
◆詳しい情報を京都市のホームページでも案内しています。下記URLを御覧ください。  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000248959.html> (風しんの追加的対策(抗体検査・定期予防接種)について)

【参考】厚生労働省ホームページ「風しんの追加的対策について」  
クーポン券の説明や啓発用ポスターやリーフレットも掲載されています。  
URL: [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html)

表1 京都市及び全国の報告数の推移(2012年～2020年第4週まで)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 ～第4週
京都市(人)	26	210	1	1	0	0	14	11	0
全国(人)	2,386	14,344	319	163	126	91	2,937	2,306	28
CRS(人) (全国)	4	32	0	0	0	0	0	4	1

図1 全国の性別、年齢階級別の報告数(2019年)



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第4週

疾病,行政区別報告数

2019年1月20日～2019年1月26日

データ入手日:2020年1月29日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	51	1	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	2						
上京	68	-	1	3	13	-	-	-	-	-	-	-	1						
左京	92	2	-	15	26	5	-	1	1	-	-	-	-						
中京	59	-	-	6	14	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
東山	42	1	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	81	1	1	11	8	-	-	2	-	-	-	-	-						
下京	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	135	-	2	-	28	1	-	-	1	-	-	-	-						
右京	164	5	6	43	33	1	-	1	1	1	2	-	1						
伏見	232	-	6	16	68	-	-	9	-	-	-	-	-						
西京	111	-	1	4	21	6	1	-	-	-	-	-	-						
京都市計	1,052	10	17	102	231	14	1	13	3	1	2	-	5	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	7.29	0.25	-	1.00	0.25	-	-	-	-	-	-	-	2.00						
上京	13.60	-	0.33	1.00	4.33	-	-	-	-	-	-	-	1.00						
左京	13.14	0.50	-	3.75	6.50	1.25	-	0.25	0.25	-	-	-	-						
中京	11.80	-	-	2.00	4.67	0.33	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-
東山	14.00	0.50	-	-	9.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	11.57	0.20	0.20	2.20	1.60	-	-	0.40	-	-	-	-	-						
下京	5.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	27.00	-	0.67	-	9.33	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-						
右京	20.50	1.00	1.20	8.60	6.60	0.20	-	0.20	0.20	0.20	0.40	-	1.00						
伏見	21.09	-	0.86	2.29	9.71	-	-	1.29	-	-	-	-	-						
西京	13.88	-	0.20	0.80	4.20	1.20	0.20	-	-	-	-	-	-						
京都市計	15.25	0.23	0.40	2.37	5.37	0.33	0.02	0.30	0.07	0.02	0.05	-	0.50	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

### 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第4週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年1月20日～2019年1月26日

データ入手日:2020年1月29日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	65歳-	70歳以上					
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	1,052	3	14	66	42	40	60	70	85	64	53	51	161	47	51	72	81	45	22	17	8	
RSウイルス感染症	年齢3	10	2	1	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		17	-	-	5	3	3	1	1	-	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		102	-	-	5	8	11	19	9	15	4	8	4	11	-	8	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		231	3	15	43	33	15	14	20	18	9	8	9	23	6	15	-	-	-	-	-	-	-
水痘		14	-	1	-	-	2	2	2	-	1	1	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		13	-	-	-	1	2	2	3	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		3	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	2	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	65歳-	70歳以上					
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	15.25	0.04	0.20	0.96	0.61	0.58	0.87	1.01	1.23	0.93	0.77	0.74	2.33	0.68	0.74	1.04	1.17	0.65	0.32	0.25	0.12	
RSウイルス感染症	年齢3	0.23	0.05	0.02	0.07	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.40	-	-	0.12	0.07	0.07	0.02	0.02	-	0.02	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.37	-	-	0.12	0.19	0.26	0.44	0.21	0.35	0.09	0.19	0.09	0.26	-	0.19	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.37	0.07	0.35	1.00	0.77	0.35	0.33	0.47	0.42	0.21	0.19	0.21	0.53	0.14	0.35	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.33	-	0.02	-	-	0.05	0.05	0.05	-	0.02	0.02	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.30	-	-	-	0.02	0.05	0.05	0.07	-	0.07	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.07	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	0.10	-	-	0.20	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第4週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年1月29日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	1,205	1,261	444	1,068	950	1,052
RSウイルス感染症	17	20	5	16	15	10
咽頭結膜熱	31	23	3	11	10	17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	79	89	15	66	63	102
感染性胃腸炎	299	312	55	196	201	231
水痘	35	19	6	20	20	14
手足口病	17	16	2	4	-	1
伝染性紅斑	15	13	5	13	9	13
突発性発しん	11	6	3	11	9	3
ヘルパンギーナ	4	-	1	-	-	1
流行性耳下腺炎	2	-	-	1	1	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	2	-	7	2	5
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	1,717	1,761	539	1,413	1,280	1,451

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	17.46	18.28	6.43	15.48	13.77	15.25
RSウイルス感染症	0.40	0.47	0.12	0.37	0.35	0.23
咽頭結膜熱	0.72	0.53	0.07	0.26	0.23	0.40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.84	2.07	0.35	1.53	1.47	2.37
感染性胃腸炎	6.95	7.26	1.28	4.56	4.67	5.37
水痘	0.81	0.44	0.14	0.47	0.47	0.33
手足口病	0.40	0.37	0.05	0.09	-	0.02
伝染性紅斑	0.35	0.30	0.12	0.30	0.21	0.30
突発性発しん	0.26	0.14	0.07	0.26	0.21	0.07
ヘルパンギーナ	0.09	-	0.02	-	-	0.02
流行性耳下腺炎	0.05	-	-	0.02	0.02	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.20	-	0.70	0.20	0.50
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	29.52	30.06	8.64	24.04	21.60	24.91

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。